

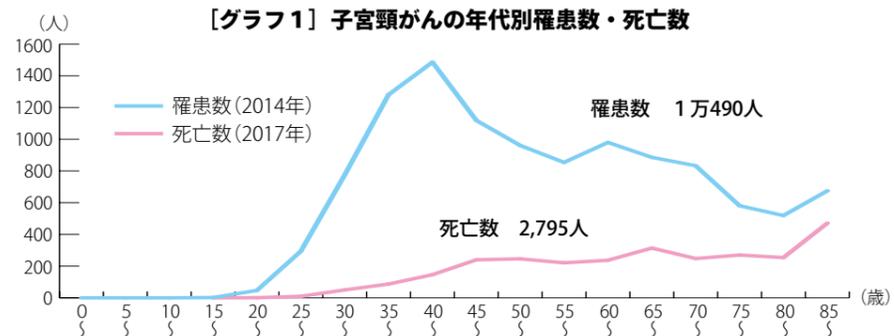
近年、若い女性に多い「乳がん」と「子宮頸がん」 女性の検診を受けましょう

20代後半以降から増える「子宮頸がん」

近年、39歳以下の日本人女性で、子宮頸がんの罹患や死亡が増えています（グラフ1）。20〜30歳代の若い女性では、乳がんに次いで多いがんです。

子宮頸がんの罹患には、その多くにヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関連していると考えられています。HPVはごくありふれたウイルスで、性交渉の経験がある女性の50〜80%はHPVに感染している可能性があり、子宮頸がんになる危険性があります。早期のうちには、ほとんど自覚症状がないため、2年に1度、検診を受けることがとても大切です。

子宮頸がんは、早期発見・治療で90%以上が治ります（*1）。

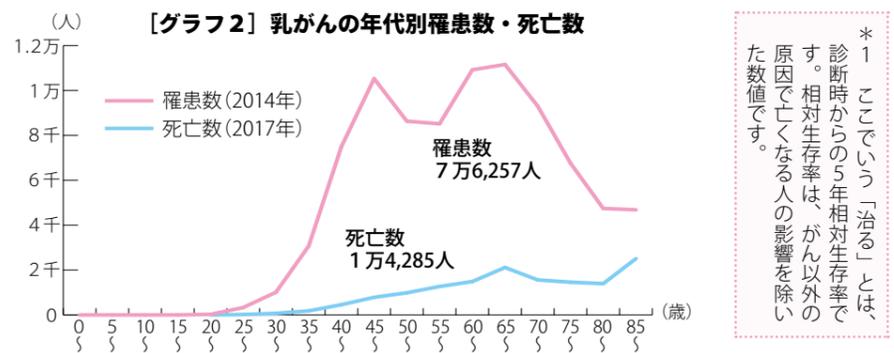


11人に1人がかかるというわれている「乳がん」

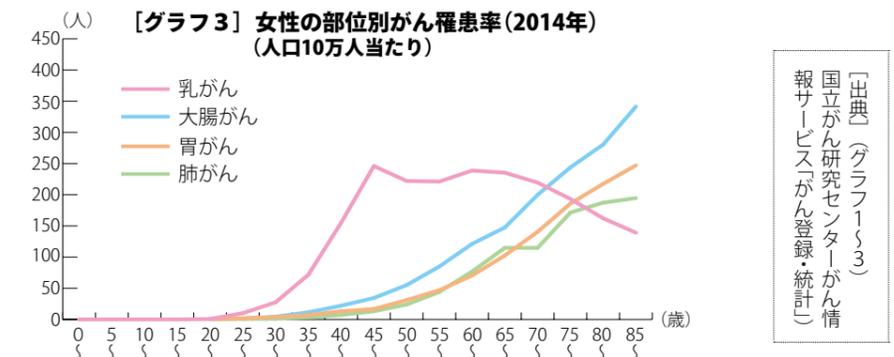
乳がんは、女性に一番多いがんで、40〜50歳代をピークに罹患や死亡が増加しています。日本人女性の約11人に1人が乳がんにかかる危険があり、子育てや介護、仕事など女性として一番忙しい時期にかかりやすい病気です（グラフ2・3）。

乳がんは、乳房に固いしこりをつくる病気です。しこりを感じなくても、乳頭から血液が出てきて見つかることもあります。月に1回以上、入浴をする際に自己触診をする習慣をつけ、異常が見られたらすぐに「乳腺科」を受診しましょう。また異常が見られなくても、2年に1度は必ず検診を受けましょう。

乳がんは早期発見・治療で95%以上が治ります（*1）。



*1 ここでいう「治る」とは、診断時から5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。



【出典】(グラフ1〜3) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録統計」

がんの多くは、高齢になるほど罹患しやすくなります。そのため、若い女性にはあまり関係のない病気だと思われがちですが、女性特有のがんは若年齢化が進み、20〜40歳代で罹患するケースが増えています。

異常がなくても、2年に1度は必ず検診を受けましょう。

問い合わせ 健康推進課 清水明日香 ☎(23) 0024

婦人科検診について

①乳がん・子宮頸がん検診は2年に1度受診できます

令和2年度以降、乳がん検診および子宮頸がん検診は、生まれ年に関係なく、ご自身にとって2年に1度の検診に変更しました。

- ▶子宮頸がん検診 20歳以上は2年に1度
- ▶乳がん検診 40歳以上は2年に1度（マンモグラフィ検査）

②無料クーポン券を配布します

20歳の人には子宮頸がん無料クーポン、40歳の人には乳がん検診無料クーポンを送付します（クーポンは受診券と一体化されています）。

【令和3年度無料クーポン対象者】

- ▶子宮頸がん 平成12年4月2日〜平成13年4月1日生まれ
- ▶乳がん 昭和55年4月2日〜昭和56年4月1日生まれ



がん検診受診率50%達成に向けたキャンペーンイメージキャラクター「けんしんくん」

③託児を利用できる日があります

婦人科集団（乳がん、子宮頸がん）検診の際に、託児を利用できます。利用人数には限りがありますので、希望する場合は、早めに予約をしてください。

【託児利用できる日（いずれも午前・午後）】

- ▶8月18日(木)（総合健康福祉センターさざんか）▶10月5日(木)（相良保健センター）

④女性の総合がん検診が始まります

婦人科集団検診とは別に、がん検診と婦人科検診を同日で受診することができます。完全予約制のため、約1時間で、すべての検診を受診することができます。

*検診1週間前までに問診票を送付しますので、当日記載したものを持参してください。

【日程】

- ▶8月12日(木)（榛原文化センター）▶8月14日(土)（い〜ら *午前のみ）
- ▶9月21日(木)（地頭方原子力防災センター「ジーボ」）▶10月9日(土)（榛原文化センター *午前のみ）

【検診内容】

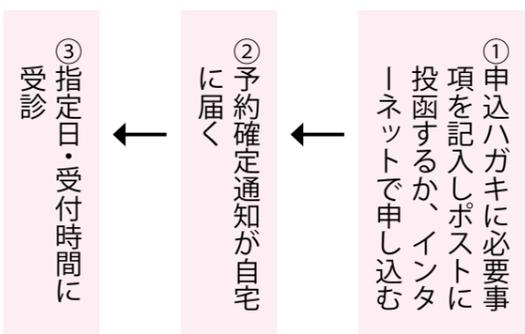
	検診名	対象年齢（令和3年3月31日時点）	自己負担金
がん検診	胃がん検診（午前のみ）	40歳以上	1,900円
	結核・肺がん検診	40歳以上	無料
	大腸がん検診	40歳以上	1,000円
婦人科検診	乳がん検診（マンモグラフィ検査）	40歳以上で前年度に受診していない人	2,000円
	子宮頸がん検診	20歳以上で前年度に受診していない人	1,900円
	骨粗しょう症検診	40歳以上	1,300円（*）

* 40、45、50、55、60、65、70歳の方は、1,300円で受診可能です。それ以外の方は、2,750円です。

女性の総合がん検診・婦人科集団検診の予約方法

婦人科検診の受診券に同封されている申込ハガキまたはインターネットで申し込んでください。受診券が手元にならない人は、健康推進課まで問い合わせてください。

受診までの流れ



* 新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の検診の日程などが変更になる可能性があります。変更があった場合は、個別通知やホームページなどでお知らせします。